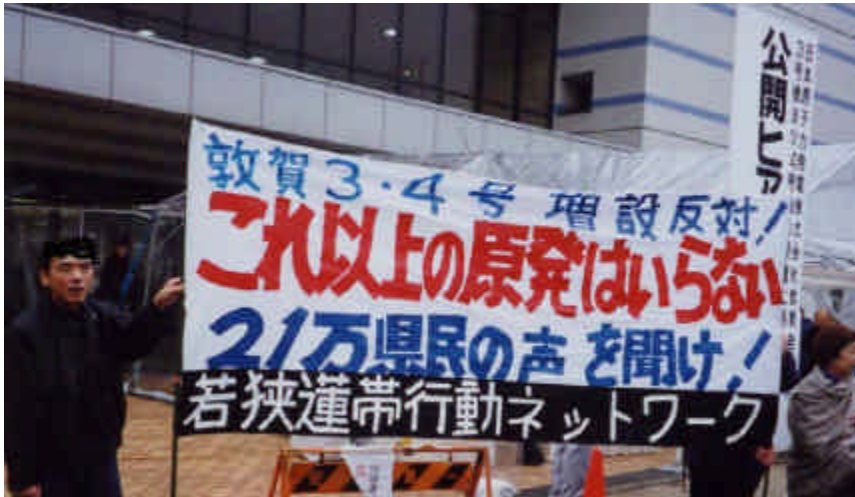


## TM 原発事故から23年 3月28日に関電行動 3月3日にTM事故23年のつどい



若狭ネットは、2月8日に、美浜事故から1年、原発・核燃料サイクル反対の対関電交渉を行いました。2月14日には、「教子を原子力の犠牲者にするな！」を合言葉に「原子力・エネルギー教育支援事業交付金の創設に反対する」対文部科学省交渉、2月22日には、第1次公開ヒアリング場前で敦賀3・4号炉増設反対の横断幕を掲げての抗議行動をおこなってきました。

### 美浜事故から毎年の関電交渉

2月8日の関電答弁は、「昨年12月27日付『コモックス社におけるMOX燃料加工

の中止』に際しての緊急申し入れに対しては答えさせて頂くが、1月30日付『原発新增設・プルサーマル計画などに関する公開質問状』については、質問状をもらってからまだ日が経っていないので、答えることができない」ということから始まりました。「それじゃあ、いつ回答するのですか。」「こちらは質問書を出しているのだから、関電も文書で回答すべきじゃないですか。」と追及すると、「いいや電話連絡させてもらう」と誠意のない答えが続き、「あーこれじゃあ、関電の体質は何ら以前のままだ。」と、失望と落胆が頭をよぎり

ました。

世間では、情報公開が叫ばれているのに、関電は「安全に管理しています」「資源の乏しい我が国は、プルサーマルが必要です」「企業努力をしています」などと、事前に準備した文書を読み上げてすまそうとしたのです。私たちの質問に、どうして文書で回答し、お互いに真摯な話し合いをしようとはしないのでしょうか。11年前に「事故は起こりません。起こしません」と言って美浜原発事故を起こしたときの反省はやはり口先だけだったのでしょうか。

結局、関電は公開質問状に対し、交渉日から2週間後に電話で回答してきました。それをこちらで文書に直してFAX送信し、この内容でよいかを電話で確認すると、関電がFAX文書に手書きで訂正を書き込んで送信してくるというこの繰り返しでした。最初から文書回答をFAX送信してくれば一度で済むことではないでしょうか。このような関電の姿勢そのものが問われます。やはり「証拠として残る回答をすると、ウソがばれたときにまずい」と恐れているのではないかと思います。

私たちは、関電に対して何度も何度も追及し続け、関電の原発・プルサーマル推進の矛盾や問題点を明らかにしていくつもりです。

3月28日はアメリカでTMI原発事故が起こって23年にあたります。そこで、3月28日4時半から関電本社にでむき、再度交渉します。各個人、団体で創意工夫して、関電に申し入れをおこなっていきましょう。皆さんのご参加をお願いします。

### **教え子を原子力の犠牲者にするな！**

2月14日には「原子力教育支援事業交付金創設」に関する2回目の文部科学省交渉

を行いました。12月の交渉に続き、全国各地から5団体、163個人の賛同を得、当日は平日にもかかわらず40名にも及び参加があり、共に追及しました。

交渉では、原子力教育という文言にエネルギー教育という文言を入れたことで「原発推進一辺倒ではない」と言い逃れようとした。また、「この交付金は、特定の政策を画一的、統一的な指導を行うものではない。押しつけ、強制ではない」と強弁し、自治体を支援するためのものであり、自治体の計画をもとに推し進めるものだと言明し、逃げをはかりました。

私たちは、この交付金は、原発推進の目的税を財源にしていること、原子力推進教育を前面に出していること、一方に偏った特定の政策の宣伝教育はまさに憲法や教育基本法に違反していることを指摘し、この交付金創設の撤回を迫りました。

当初の交渉時間は 時間という約束でしたが、2時間半にも及びました。

私たちの正当な主張に対して、文部科学省は最後には、「もう予算案は、文部科学省から離れましたので、変更はできません」と人事のように言わざるを得なくなりました。

このような既成事実化によって事を運ぶ役人たちの姿勢に対し、憤りと怒りを覚えます。

私たちは、あくまでもこの交付金の撤回を求め、今後も交付金申請要項の内容をチェックしながら、闘いを継続させていきます。

### **敦賀3・4号増設反対の示威行動**

経済産業省資源エネルギー庁は2月22日、敦賀3・4号増設のための「手続き」=儀式に過ぎないヒアリングを敦賀市で開催しました。

私たちはこの日早朝から、「敦賀3・4号

炉増設反対！これ以上の原発はいらない、21万県民の声を聞け！」の横断幕を掲げ、経済産業省の強硬推進に抗議し、増設反対を訴えました。また、日本原電には1月23日に公開質問書を提出し、2月14日には福井県に対して、県主催の公開討論会の開催を要求し、県民が納得のいくまで何度も討論をするよう強く申し入れました。日本原電からは2月28日に文書回答がありました。敦賀3・4号をめぐっては様々な問題点があります。決してこのままスムーズに進むものではありません。10年後の電力事情は全く

の不透明です。電力自由化や分散型発電の普及が急速に進もうとしています。果たして、世界最大規模(153.8万kW)の原発2基の資金回収がうまくいくかどうか見通しも立たないままです。ますます混迷が深まる可能性が見えてきています。

3月31日には大阪で集会を持ち、敦賀原発増設の動きや美浜原発増設の美浜町の要請など、若狭を取り巻く原発事情を話し合いたいと考えています。今後の運動について意見交流をしていきたいと考えます。ふるって参加ください。

## 原発新增設・プルサーマル計画等に関する 公開質問状」への関西電力の回答

(2月22日電話回答、ワープロ原稿をFAX送信して確認、26日に修正原稿がFAX送信された)

### 1. コモックス社でのMOX燃料加工中止について

(1) 貴社は、経済産業省原子力安全・保安院の判断に基づき、コモックス社におけるMOX燃料加工を中止しました。今回の事態は、そもそも貴社が1998年1月20日に「自己責任」でBNFLへのMOX燃料加工を強硬発注したことに端を発しています。コモックス社のMELOX工場でのMOX燃料加工もBNFLデータ改ざん問題が露呈している最中に強行した結果です。これらのツケが今回の中止になって現れたのです。この間の責任を少しでも感じるのであれば、MOX燃料加工契約を破棄し、高浜3・4号炉でのプルサーマル計画そのものを撤回すべきだと私たちは考えますが、いかがですか。

一昨年夏の公開討論会で私たちと約束した「コモックス社でのMOX燃料加工データの公開」と「それに基づく公開討論会の開催」を果たさなかった理由は、コモックス社への監査を貴社自身の手で行っていないことが暴かれるのを恐れたからではないかと私たちは考えますが、いかがですか。

**(回答)高浜発電所に保管中のMOX燃料8体の返送を最優先させて取り組み、地元の了解を得てプルサーマル計画を進めていきたい。**

(2) 貴社は、仏コモックス社MELOXとのMOX燃料加工契約を自ら事前監査することなく締結し、加工中に社員を派遣・常駐させて監査することもせず、ずさん

な監査体制下で作られたMOX燃料がそのまま使えるよう原子力安全・保安院に働きかけていました。貴社の品質管理・監査体制のずさんさがBNFLのデータ改ざん事件で根本的に問われた際、「品質を作り込む管理体制を構築し直す」と言っていたのは口から出まかせの大ウソだったのですか。原子力安全・保安員から言われるまでもなく「MOX燃料の品質監査ができていなかったため使用を中止する」と、なぜ自ら宣言できなかったのですか。今回の加工中止に伴い、コモックス社とのMOX燃料加工契約も白紙に戻すべきだと私たちは考えますが、いかがですか。

**(回答)BNFLの問題以降、十分な品質管理のもとで加工を行ってきたため、自ら使用中止することは考えていなかった。コモックス社とのMOX加工契約はない。**

(3) これを契機に、イギリスへのMOX燃料返還輸送計画を中止し、経済産業大臣に対しプルサーマル計画の中止を進言すべきだと私たちは考えますが、いかがですか。使用済核燃料の再処理を全面的に中止し、英・仏との再処理契約を破棄し、すでに抽出されたプルトニウムはガラス固化し、電力会社の責任で安全に密閉管理し続けるべきだと私たちは考えますが、いかがですか。

日本の電力会社との契約なしには経済的に成り立たない英BNFLのSMPが本格操業に向けて動き始めましたが、貴社はSMPとのMOX燃料加工契約につい

て、BNFLに将来契約する可能性を文書、メール、電話、口頭など何らかの手段で伝えたことはありませんか。

**(回答) プルトニウム利用をやめる計画はない。今後ともプルサーマルを進めていく。BNFL社との契約再開について現段階で未定でありそのようなことはない。**

(4) 貴職が本当に品質管理体制の抜本的改善を望み、貴社の失った社会的信頼を取り戻そうというのであれば、スイス・ベズナウ原発でのMOX燃料棒事故に関し、武生市での公開討論会で「事故はない」とウソをついたことを自己批判し、プルサーマル計画中止と共に謝罪文を福井の全新聞に掲載するべきだと私たちは考えますが、いかがですか。

**(回答) MOX固有の問題ではないことを説明してきた。**

## 2. 六ヶ所再処理工場の建設・運転等について

(1) 貴社も出資している日本原燃の六ヶ所再処理工場は建設費だけでも2兆円を超え、運転・管理・解体処分などを合わせた総事業費は5兆円以上にのぼると言われています。これには高レベル廃液のガラス固化費用や最終処分費は含まれていないと思われませんが、いかがですか。電気料金から徴収している再処理引当金は必要な再処理概算費用の6割程度しか見込んでいないと言われていますが、現在の再処理引当金のkWh当たりの徴収額で、六ヶ所再処理工場の総事業費の何割を賄えと見積もっているのですか。不可避的に生じる巨額の不足分をどのようにして賄うつもりですか。

**(回答) 工事費は約2.14兆円。操業後のコストなどについては、日本原燃で検討を行っていると聞いている。当社としては、発電単価1円kw/h強と評価。最終的な処分費用は拠出金として納付。**

(2) 六ヶ所再処理工場で抽出したプルトニウムを利用するため商業用MOX燃料加工工場を新たに建設すれば、さらに巨額の資金が必要になり、貴社の経営を一層圧迫することになります。プルサーマルによるウラン資源の「節約」は資源論的にほとんど意味がないことは貴職もご存じのはずです。ウラン燃料費の節約効果も高いMOX燃料費で経営的には大きな損失になることもご存じのはずです。それでも、使用済核燃料を六ヶ所再処理工場で再処理してプルサーマルを行うべきだと考えているのですか。

経済産業省が刈羽村でまいたビラで思わず暴露したように、「プルサーマルがうまく進まなければ、使用済核燃料の搬出先がなくなり、糞詰まりになって原

発の運転ができなくなる」というのが本音だと私たちは考えますが、いかがですか。

**(回答) エネルギー資源の乏しい我が国は、ウラン資源の有効利用、エネルギーセキュリティの観点からプルサーマルを進める。**

(3) 電力各社は使用済核燃料の中間貯蔵施設を立地しようとしています。東京電力が立地しようと狙っている関根浜でも、地元の関根浜漁協が立地可能性調査の受け入れを拒否しています。高知県宿毛市への立地構想についても、高知県知事は「中間貯蔵施設を誘致したり、受け入れたりする考えはない。核廃棄物処理の安全性の問題が科学的に解決するとは考えられない」と断言しています。貴社は、関電管内に4箇所の使用済核燃料中間貯蔵施設立地地点を検討中としていますが、具体的な地名をいつ公表するつもりですか。珠洲原発立地予定地の土地買収で暴露されたような「悪質な転売方式による立地予定地の土地買収はしていない」と断言できますか。

**(回答) 時間を要する。地元の情勢を見ながら。2010年操業開始をすべく進めている。早く決めたい。珠洲の問題には我が社は関与していない。**

(4) 大飯原発で先行照射した燃焼度5.5万MWD/tの高燃焼度燃料が今後の通常の核燃料として用いられようとしています。これほど高燃焼度の使用済核燃料を再処理できる技術はありません。そのため、今でさえ4.8万MWD/tの高燃焼度燃料搬入時には、搬出先を指定せずに搬入しています。これらが原発サイトから搬出される可能性があるとするれば、いつ頃、どこへ搬出できるというのですか。具体的に述べて下さい。行き先のない危険な使用済核燃料を無責任に生み出し続けることはもうやめるべきだと私たちは考えますが、いかがですか。

**(回答) 今後の使用済み燃料の具体的な搬出先、時期などについては現段階では未定。**

**六ヶ所村の再処理工場は最高燃焼度55,000MWD/年で再処理可能。**

## 3. 敦賀3・4号炉等増設計画について

(1) 日本原電が福井県敦賀半島先端の敷地内に敦賀3・4号炉の建設を計画していますが、福井県民の多くが2万人署名で反対の意思を示したことは貴職もご存じのとおりです。ところが、日本原電の現社長は元関電副社長であり、貴社は敦賀3・4号炉から2009年度76.9万kW、2010年度さらに76.9万kW、合計153.8万kW、ちょうど倍分を買電しようとしています。これでは、貴社の代わりに日本原電が建設しているのと変わりません。現に、貴社は買電電力量をさらに増やし、将来は敦賀3・4号炉を買い取ることもさえ展望し、建設段階

から貴社の技術者を多数派遣する計画だと噂されています。これは本当ですか。

また、2006年度に運転開始予定の北陸電力の志賀2号135.8万kWからも発電電力量の1/4、約34万kWを買電すると伝えられていますが、本当ですか。

日本原電からの卸電力料金と北陸電力からの購入電力料金は、1kWh当たりそれぞれいくらですか。まだ決まっていなれば、いくらにするように要求しているのですか。また、貴社が冬場の基底負荷電力を超える原発の発電電力量を他社へ融通する際の売電電力料金はいくらですか。

**(回答)3、4号機の建設部門に数名派遣している。原電のお役に立ちたい。北電の買電は協議中である。卸電力料金については、守秘義務があるので答えられない。**

(2) 日本原電は敦賀3・4号炉の建設費を8300億円から7600億円へ引き下げの方針です。これは発電単価を下げる必要性があるだけでなく、当面の膨大な建設費を調達するのが困難であることを表しています。貴社は日本原電からの建設費負担要請にどこまで応じる用意があるのですか。

**(回答)負担要請は受けていない。**

(3) 敦賀3・4号炉計画は10年前の地元への打診時から大きく変わっています。当初は第3次改良標準化による135万kWのAPWRでした。ところが、建設費が高すぎるため、ウランを効率よくプルトニウムに変換する複雑な炉心の設計を取りやめ、建設費を削減してきました。その結果、当初の設計や従来の原発とはかなり異なる設計になり、電気出力は世界最大規模の153.8万kWに達しています。これらの設計変更の過程に貴社はどのように関与してきたのですか。

**(回答)第3次改良計画で検討された135万kW級改良型PWRをその後の技術進歩や国内外の運転保守経験も取り入れて、150万クラスにした。**

(4) 電力自由化や分散型電源の普及が進む中で、貴社は電源開発計画を延期し、火力発電を停止し、設備投資をさらに15%減額し、3000名規模のリストラ計画を打ち出し、ガス事業や通信事業に乗り出そうとしています。多様な電源を開発してきた卸発電会社の電源開発は民営化を機に、卸発電事業からの脱皮を図ろうとしています。しかし、原発以外に生産手段をもたない日本原電が原発専門卸発電会社として生き残ることは不可能だと考えられますが、いかがですか。日本原電に出資している九電力会社の間で日本原電の将来をどの様に検討しているのですか。また、敦賀3・4号炉をめぐる安全性・経済性・核廃棄物問題など

について、日本原電だけでは責任を負えないことは明白です。貴社はどこまでこれらの問題に責任をもつつもりですか。

**(回答)当社からどうこう言う立場ではない。**

(5) 報道によれば、電力業界は、原発新增設や核燃料サイクル計画の推進に係る費用について政府の支援を要請する方針を打ち出し、託送料金値上げ、炭素税創設、独立系発電事業者IPPへの原発電力購入の義務づけなど具体的な検討を開始しています。貴社はこれにどのように関与しているのですか。また、いつ頃を目途に具体的な支援要請を政府に出すつもりですか。これまで「原発は安い」と言ってきたのはウソだったのですか。

**(回答)将来を見通した議論は行っている。海外事情をふまえて様々な議論は行っている。具体的にどのような支援や措置を求めていくかについて方向性を固めたというようなことはない。**

(6) 美浜町議会が美浜4・5号炉増設陳情を採択しましたが、貴社にはその具体的な計画があるのですか。土地買収で裁判沙汰になっている珠洲原発計画については今後どうするつもりですか。

秋山会長は年頭に「当社は目下、九電力の中でも最も苦しい闘いを続けている。現在のところ、その劣勢は否定できない。」と吐露しています。現に、貴社の株価は九電力中6～7位に低迷し、自己資本比率も十数%と低く、原発を立地すればさらに悪化するのを避けられません。この際、電力自由化に生き残るためにも脱原発の道を選択し、消費者の信頼を回復すべく一歩を踏み出すべきだと私たちは考えますが、いかがですか。

**(回答)具体的な計画はない。珠洲の原発立地活動は行っている。**

#### 4.原子力推進教育への取り組みについて

(1) 貴社は学校現場での補助教材としてビデオとパンフレットを作成し、学校に配布しています。学校への講師派遣も行っていると聞いています。貴社のこれらに関する過去の実績はどの程度あるのですか。来年度から小・中学校で始まる総合学習の時間に向けて、貴社はどのような準備をしているのですか。

**(回答)資源エネルギーに関する専門家として全般的な資料提供を行っている。**

(2) 原子力推進教育を文部科学省や貴社が一体となって学校に持ち込むことは、憲法や教育基本法に定められた教育の自由、教育の権利に違反することをご存じですか。それを知りつつ、またはそれも知らずに、学校現場に原子力推進教育を持ち込もうとしているのですか。 **(回答)1)と同じ**

~~~~~ 今後の予定 ~~~~~

3月23日(土) 午後6時～9時

「今こそ良心的軍事拒否国家をめざそう」講演会

尼崎市立労働福祉会館(06-6481-4561)

阪神尼崎駅より徒歩約10分(北へ680m)

連絡先:北川れん子事務所(06-4960-8960)

3月28日(木) 午後4時半

TMI事故から23年 対関電行動

関西電力本社 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車5分

3月31日(日) 午後1時から

TMI事故23年のつどい

- 原発と教育をめぐる新たな動きをさぐる -

東淀川勤労者センタ - (JR線「新大阪」駅下車 徒歩10分)

4月21日(日) 午後1時～

繰り返さないでチェルノブイリ 事故16周年のつどい

エルおおさか (地下鉄谷町線「天満橋」駅下車7分)

チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西(0798-44-2614)

~~~~~

若狭ネット大阪 久保

2月14日に2回目の文科省交渉を行いました。

全国各地から、賛同とカンパありがとうございました。カンパは、約23万円集まりました。

遠方から参加された片道の交通費にしました。ありがとうございました。

これからも「教え子を原子力の犠牲者にするな!」を合言葉にこの問題を追及していきます。

編集後記

- ・ 3月3日福井県美浜町で町会議員選挙の投票が行われました。原発反対を掲げて選挙戦を闘ってこられた松下照幸さんが、再選されました。美浜町という原発推進の町で2期目の当選を果たされたことは、大変なことであると労をねぎらうと共に、確実に町の住民に支持されていることを実感します。反原発運動は、社会正義の闘い、子孫を守る闘い、住民の心を安らかにする闘いとして、今後も一緒になってがんばりたいです。本当に嬉しいことです。きよ子